

京都生活協同組合（京都府）




2030年ビジョン「京都生協は新たな希望をつくる」を目指して

【京都生活協同組合の概要】

- 設立：1964年11月（高度経済成長による物価の高騰などで暮らしに不安が募る中「お互いに頼もしき隣人となりましょう」の呼びかけで誕生）
- 主な事業内容：宅配事業、店舗事業、福祉事業、共済事業、葬祭事業
- 活動範囲：京都府全域
- 店舗数：京都府内に18店舗（2022年10月現在）



【京都生協の目標】

- 使い捨てプラスチック製容器包装の使用量を、2030年度までに2018年度比で25%削減  **包材の削減**
- 2025年にレジ袋の有料配布を廃止  **お買い物袋持参**
- 2030年度までに宅配内袋・注文書セット袋のリサイクル回収率40%を達成  **内袋リサイクル**

【主な取組の成果（2021年度）】

- お買い物袋持参運動
1996年よりレジ袋の有料化を実施、お買い物袋持参運動に取り組む。
→レジ袋削減枚数：1,260万枚
マイバッグ持参率：93.4%
- 内袋のリサイクル
宅配サービスで使用されている商品お届け時の内袋のリサイクルを推進。リサイクルした内袋はプラスチック製品の原料に再利用されている。
→内袋回収率：15.9%



店舗で加入時にお渡ししているマイバッグ

京都生活協同組合（京都府）

店舗での容器包装の回収

店舗では紙パック、卵パック、ペットボトル、食品トレーなどを回収。

宅配でのカタログをあわせた2021年度の回収総量は4,670トンで卵パック、ペットボトルで回収率が増加。

トレー	ペットボトル	牛乳パック	たまごパック	宅配カタログ
1,804	9,840	10,840	5,135	379,210
8.9%	32.0%	9.7%	19.0%	

また、08月度お買い物袋持参率は、92.7%(CO2削減:39t-CO2)でした。
今後とも引き続き、せいきょうの環境への取り組みにご協力ください。



店舗の掲示板で毎月リサイクル回収量などを報告

プラスチックの削減



豆、ナッツ類の量り売りコーナー

商品に使用されているプラスチック包材の使用量を削減するため、次の取組を実施

- 店舗総菜売り場で使用していたパケットレーを袋へ変更
- ラベルレスのペットボトル飲料の販売
- 豆、ナッツ類の量り売り



店内モニターの動画でプラスチック削減の啓発

エシカル消費の推進

「エシカル消費（倫理的な消費）」を行うことが地球環境を守り、途上国の暮らしの支援につながるの考えから、京都生協ではエシカル消費の啓発に積極的に取り組んでいる。

2021年度はエシカルな商品の総利用点数が約2,303万点となり、前年比104.8%と利用が拡大。



途上国への寄付金つき商品の販売



エシカル消費商品の販売コーナーを設置

手提げ袋の有料化

1996年よりレジ袋の有料化を実施、お買い物袋持参運動に取り組む。また店内レジ袋は、2021年2月中旬より、バイオマス原料配合率25%の仕様に順次切り替えた。



京都生協キャラクター「きょうまる」